



御厨子神社の本殿―檀原市東池尻町で



(住所) 檀原市東池尻町447
 (祭神) 根析神、安産霊神、誉田別命
 (交通) 近鉄大福駅から徒歩約20分、
 JR香久山駅から徒歩約15分

(拝観) 境内自由
 (駐車場) 無
 (電話) 0744・48・0155(天
 香山神社)

御厨子神社 (檀原市)

御厨子神社は、天香久山北東の檀原市東池尻町にあります。この辺りは大和朝廷時代の政治的要地である磐余の地にあり、境内が位置する場所は第22代清寧天皇の磐余麩栗宮跡の伝承地とされています。

祭神は当初、根析神、安産霊神の2柱でした



が、後の室町時代に誉田別命が合祀されました

た。

境内には、俗に月輪石と呼ばれる真つ二つに割れた大石があり、石析神が祭られています。神の依代としての磐座ともみられ、古代信仰の名残を感じさせます。当社を氏神としていた

かつての南山村は、江戸時代以降に三つに分村され、現在の檀原市南山町、桜井市橋本、檀原市東池尻町となりました。

また、参道の手前には磐余池の推定地が広がっており、非業の死を遂げた大津皇子がこの池のほとりで詠んだとされる辞世の句「ももつたふ磐余の池に鳴く鴨を今日のみ見てや雲隠りなむ」の万葉歌碑が建っています。

今もこの三つの地区によって神社が守られています。

また、参道の手前には磐余池の推定地が広がっており、非業の死を遂げた大津皇子がこの池のほとりで詠んだとされる辞世の句「ももつたふ磐余の池に鳴く鴨を今日のみ見てや雲隠りなむ」の万葉歌碑が建っています。

清寧天皇、大津皇子ゆかり

(奈良まほろばソムリエの会会員 磯兼史洋)